

授業科目

在宅看護学概論

担当教員名 宇田 優子、稲垣 千文	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

在宅看護を必要とする社会情勢、在宅看護学の理論等を座学、個人・グループワークで学ぶ。

授業の目的

社会の変化によって、在宅ケアのニーズは増大している。在宅看護学では保健・医療・福祉の有機的な連携を基盤として、在宅療養をしている人とその家族を、「地域で生活すること」「その人らしく生きること」に視点をおいて理解し、在宅看護の機能と役割、訪問看護制度について学習する。

学習目標

1. 在宅看護が必要とされる背景と根拠を説明できる
2. 在宅看護の対象と生活の場、在宅看護の提供方法、在宅療養者が利用できる社会資源を説明できる
3. 在宅看護の目的、役割、機能を説明できる（安全管理、家族支援、療養の場の移行に伴う看護、医療機関との連携、チームケア、ケアマネジメント・ケースマネージメント、倫理的課題）
4. 訪問看護の制度、サービス提供の仕組みを説明できる
5. ライフステージや疾患、障害の特性をふまえた在宅看護を概説できる（小児・障害者・高齢者）
6. 在宅における医療管理（胃瘻）を必要とする人の看護を説明し、実施できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	社会の諸情勢と在宅看護の歩み、法律・在宅看護の法的基盤 居宅等における医行為	講義	宇田 優子
2	在宅看護の対象の疾患や障害の特性をふまえた理解と支援に必要な理論 在宅看護の対象である家族の理解（家族看護学で学ぶ） 在宅看護の提供方法（訪問看護、外来・入所施設・通所施設での看護）	講義	宇田 優子
3	地域包括ケアシステムと社会資源・制度、看護 諸外国の在宅看護	講義	宇田 優子、稲垣 千文
4	介護保険制度とケアマネジメント、訪問看護活動	講義	宇田 優子
5	在宅療養者・家族の体験から学ぶ	講義	稲垣 千文、外部講師 他
6	療養の場の移行に伴う看護 医療機関や福祉機関との連携、チームケア リスクマネジメント	講義	宇田 優子
7	対象別在宅看護の特徴（1）	講義	稲垣 千文
8	対象別在宅看護の特徴（2）	講義	稲垣 千文
9	在宅における看護過程の基本	講義	宇田 優子、稲垣 千文
10	在宅における医療管理と看護（1）	講義・個人ワーク	稲垣 千文、宇田 優子
11	在宅における医療管理と看護（2）	講義・個人ワーク	稲垣 千文、宇田 優子
12	在宅における医療管理と看護（3）	講義・個人ワーク	稲垣 千文、宇田 優子
13	訪問看護ステーションの訪問活動の実際	講義	宇田 優子、外部講師予定 他
14	在宅における医療管理と看護（4） 胃瘻造設者への看護技術の実際	グループ演習	稲垣 千文、宇田 優子 他
15	在宅看護の倫理と今後の課題 まとめ	講義	稲垣 千文、宇田 優子 他

* 内容及び順序は変更する場合があります

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	在宅看護論 改訂第2版	石垣和子、上野まり	南江堂	2016年	2,800円+税	
	写真でわかる訪問看護 アドバンス	押川真喜子	インターメディカ	2016年	3,700円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題（授業態度含む） 40%程度

筆記試験 60%程度

履修上の留意点

2年次科目の「家族看護学」「保健医療福祉制度論」「基礎看護学実習」「看護倫理」と関連付けて積極的な態度で学ぶこと

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室（宇田）、k 4 0 9 研究室（稲垣）。

実習指導等で不在が多いので、来室時はメールにて予約してから来室すること。

yuko-uda@nuhw.ac.jp

inagaki@nuhw.ac.jp